



国立精神・神経医療研究センター
バイオバンク

(倫理指針に則る情報公開)

～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

うつ病、双極症、統合失調症、不安障害等と診断された方、比較対照の健康な方

【研究課題名】

精神疾患における神経炎症関連バイオマーカーの開発

【研究責任者】

服部 功太郎

【本研究の目的及び意義】

キヌレニン経路とは、トリプトファンというアミノ酸の代謝経路のひとつです。炎症により活性化するとセロトニンやグルタミン酸などの神経伝達に影響を及ぼすことが知られています。本研究では、うつ病や統合失調症などの脳脊髄液や血液でキヌレニン経路を調べ、病態に関わるかどうか検討します。キヌレニン系の代謝産物の測定は、徳島大学と、インフィニティ・ラボ（株式会社）にて行います。これにより原因の究明や、精密医療（キヌレニン経路が変化している人に対して選択的な治療をする）につながる可能性があります。

【本研究に提供する試料・情報】

髄液、血液（血漿）、

性別、年齢、診断名、既往歴、家族歴、服薬情報、採取時に受けられた神経心理検査、重症度評価の結果

提供する試料・情報の取得の方法：バイオバンクにおいて広範な同意を得て収集した試料・情報

【研究期間】

提供後～2030年3月31日

【試料・情報等扱う機関】

NCNP MGCバイオリソース部 （研究責任者：服部 功太郎）

徳島大学大学院医歯薬学研究部 （研究責任者：沼田周助）

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター バイオバンク

所属 メディカル・ゲノムセンター バイオリソース部

電話番号 042-346-3520 E-mail: biobank※ncnp.go.jp (※を@に変更してください)